

東証指数算出要領  
(東証為替ヘッジ指数編)

2025 年 1 月 31 日版  
株式会社 J P X 総研

2025 年 1 月 31 日発行

## 目次

変更履歴.....	2
1. はじめに.....	3
2. 概要等.....	4
(1) 概要.....	4
(2) 為替ヘッジ指数の計算対象 .....	4
3. 算出方法.....	5
4. その他.....	8
(1) 指数値の配信 .....	8
(2) 利用許諾 .....	8
(3) 問い合わせ先 .....	8

## 変更履歴

公表日	変更内容
2014/3/25	・ 問い合わせ先等を修正
2015/2/9	・ 為替ヘッジの数量決定に際して、「月末最終営業日」から「月末最終営業日の前営業日」の指数値を用いることに変更 (2015 年 3 月 2 日の指数値計算から反映)
2015/9/24	・ 「配当込み TOPIX デイリーポンドヘッジ指数」「配当込み TOPIX デイリー米ドルヘッジ指数」を追加
2016/4/12	・ 「配当込み TOPIX デイリーCHF ヘッジ指数」を追加
2016/7/1	・ 「配当込み TOPIX シンガポールドルヘッジ指数」を追加
2016/10/19	・ 「税引後配当込み東証 REIT 米ドルヘッジ指数」を追加
2018/7/17	・ 免責事項を修正
2018/7/23	・ 問い合わせ先を修正
2019/8/30	・ 誤記を修正
2020/3/31	・ 「はじめに」を修正
2022/8/15	・ 「税引後配当込み TOPIX 豪ドルヘッジ指数」を追加 ・ J P X総研への業務移管に伴う修正
2023/5/22	・ 「税引後配当込み TOPIX 香港ドルヘッジ指数」「税引後配当込み TOPIX シンガポールドルヘッジ指数」を追加
2024/10/15	・ 算出委託先の変更に伴う修正
2025/1/31	・ 算出要領間の用語統一のための変更

# 1. はじめに

---

- ・ 本資料では、株式会社 J P X 総研（以下「J P X 総研」という。）が算出する株価指数（以下「東証指数」という。）を基に、為替変動によるリスクを回避する指数（以下「為替ヘッジ指数」という。）を、原則として本資料に記載された方法等に基づいて算出・配信している。ただし、本資料に記載のない事象が発生した場合や本資料の方法による算出が困難と J P X 総研が判断した場合は、J P X 総研が適当とみなした処理方法により算出することがある。
- ・ 本資料は、J P X 総研の著作物であり、本資料の全部又は一部を、いかなる形式によっても、J P X 総研に無断で複写、複製又は転載することはできない。本資料は、指数への理解を高めるために作成された資料であり、有価証券の売買等に関する勧誘等を行うためのものではない。また、J P X 総研は、為替ヘッジ指数の算出、配信若しくは公表に係る誤謬、遅延若しくは中断、為替ヘッジ指数の算出、配信若しくは公表の方法の変更、為替ヘッジ指数若しくは本資料に記載された情報の利用又はこれらに類する事由により発生するいかなる費用又は損害等について、その責めを負わない。
- ・ 為替ヘッジ指数は、J P X 総研が排他的に所有する指数であり、委託業務に関する契約に基づき株式会社 QUICK（以下「QUICK」という。）が算出、配信及び公表するものである。QUICK は、為替ヘッジ指数の算出、配信及び公表を正確かつ適時に遂行するよう最大限の努力を払うが、為替ヘッジ指数の算出、配信若しくは公表に係る誤謬、遅延若しくは中断、為替ヘッジ指数の利用若しくはこれらに類する事由により発生するいかなる費用又は損害等について、その責めを負わない。
- ・ WM/Refinitiv Closing Spot Rates and WM/Refinitiv Closing Forward Rates provided by Refinitiv. Refinitiv shall not be liable for any errors in or delays in providing or making available the data contained within this service or for any actions taken in reliance on the same.

## 2. 概要等

### (1) 概要

- 為替ヘッジ指数は、日本円以外の通貨で投資を行うことを考慮し、東証指数の構成銘柄のリスクヘッジを行うのではなく、為替リスクのみをヘッジした場合のリターンを表象する指数である。

為替ヘッジ指数は、保有するポートフォリオを1ヶ月の為替フォワード取引により継続的にヘッジした場合の値として算出される。保有するポートフォリオにおける為替リスクのヘッジ割合をヘッジ比率とし、為替ヘッジ指数におけるヘッジ比率は100%である。よって、為替ヘッジ指数では、指数構成銘柄全体の為替リスクがヘッジされていることになる。ただし、あくまでも一定時点のポートフォリオ残高を月次でヘッジしているものであり、為替変動を完全にヘッジしているわけではない。

### (2) 為替ヘッジ指数の計算対象

- 為替ヘッジ指数の計算対象は、以下のとおり。

対象指数	通貨
配当込み TOPIX	ユーロ
配当込み TOPIX	ポンド
配当込み TOPIX	米ドル
配当込み TOPIX	シンガポールドル
税引後配当込み TOPIX	ユーロ
税引後配当込み TOPIX	ポンド
税引後配当込み TOPIX	米ドル
税引後配当込み TOPIX	豪ドル
税引後配当込み TOPIX	香港ドル
税引後配当込み TOPIX	シンガポールドル
税引後配当込み東証 REIT 指数	米ドル

- デイリー版 為替ヘッジ指数の計算対象は、以下のとおり。

対象指数	通貨
配当込み TOPIX	ユーロ
配当込み TOPIX	ポンド
配当込み TOPIX	米ドル
配当込み TOPIX	スイスフラン

### 3. 算出方法

- 為替ヘッジ指数は、各月末の1ヶ月為替フォワードを用いて、インデックスポートフォリオの全てをヘッジすると仮定する。
- 日次の指数リターン（すなわち指数値）は以下の2つのリターンの合成により計算される。
  - 対象指数の外貨建のリターン（すなわち日本円を自国通貨としない投資家が為替ヘッジなしで対象指数に投資した場合のリターン）
  - スポットとフォワード価格の線形補間により計算されるヘッジによるリターン
- 対象指数に関する指数用株式数及び基準時価総額については、「指数計算に係る算出要領」に記載する取り扱いに準じ、同日に算出される対象指数と同じ値を用いる。採用価格も同様である。
- 為替ヘッジ指数のリバランス基準日は月末最終営業日の前営業日とし<sup>1</sup>、リバランス基準日の指数値を用いてフォワード取引量を決定する。デイリー版の為替ヘッジ指数は通常の為替ヘッジ指数から、更に為替フォワード契約の数量を計算対象指数のパフォーマンスに応じて日々調整するものである。

- 基準日及び基準値は以下のとおり。

指数	基準日	基準値
配当込み TOPIX ユーロヘッジ指数	2005/8/31	1463.56
配当込み TOPIX デイリーユーロヘッジ指数	2005/8/31	1463.56
配当込み TOPIX ポンドヘッジ指数	2005/8/31	1463.56
配当込み TOPIX デイリーポンドヘッジ指数	2005/8/31	1463.56
配当込み TOPIX 米ドルヘッジ指数	2005/8/31	1463.56
配当込み TOPIX デイリー米ドルヘッジ指数	2005/8/31	1463.56
配当込み TOPIX デイリースイスフランヘッジ指数	2005/8/31	1463.56
配当込み TOPIX シンガポールドルヘッジ指数	2005/8/31	1463.56
税引後配当込み TOPIX ユーロヘッジ指数	2005/8/31	1426.88
税引後配当込み TOPIX ポンドヘッジ指数	2005/8/31	1426.88
税引後配当込み TOPIX 米ドルヘッジ指数	2005/8/31	1426.88
税引後配当込み TOPIX 豪ドルヘッジ指数	2005/8/31	1426.88
税引後配当込み TOPIX 香港ドルヘッジ指数	2005/8/31	1426.88
税引後配当込み TOPIX シンガポールドルヘッジ指数	2005/8/31	1426.88
税引後配当込み東証 REIT 米ドルヘッジ指数	2003/3/31	1000.00

- 為替ヘッジ指数に利用する為替レートは、原則として WM/Refinitiv のロンドン時間 16 時のレートを使用。
- 指数算出方法は以下のとおり：

各月を  $m$  とし、各日を  $d=1,2,3...D$  とする。（ $md$  は、 $m$  月の第  $d$  日、 $m0$  は前月の最終営業日

<sup>1</sup> 2015 年 2 月最終営業日算出分の指数値までは、リバランス基準日は月末最終営業日となります。

とする。 $mr0$  は前月の最終営業日の前営業日（リバランス基準日）とする。）

$EH$  = 為替ヘッジ指数の指数値

$MAF_m$  =  $m$  月における為替ヘッジ指数の月次調整係数

$$MAF_m = \left( \frac{EH_{mr0}}{EH_{m0}} \right)$$

$E$  = 対象指数（外貨建て）の指数値

$EL$  = 対象指数（日本円）の指数値

$HR$  = ヘッジリターン（%）

$S$  = スポットレート（1 外国通貨あたり日本円）

$F$  = フォワードレート（1 外国通貨あたり日本円）

$F_{I_{md}}$  =  $m$  月第  $d$  日における線形補間されたフォワードレート

$$F_{I_{md}} = S_{md} + \left( \frac{D-d}{D} \right) * (F_{md} - S_{md})$$

$AF_{md}$  =  $m$  月第  $d$  日におけるデイリー版 為替ヘッジ指数の調整係数

$$AF_{md} = \frac{EL_{md-1}}{EL_{m0}}$$

$m$  月  $d$  日の指数値

$$EH_{md} = EH_{m0} * \left[ \frac{E_{md}}{E_{m0}} + HR_{md} \right]$$

ただし、

$$E_{md} = \frac{EL_{md}}{S_{md}}$$

$$HR_{md} = \left( \frac{S_{mr0}}{F_{m0}} - \frac{S_{mr0}}{S_{md} + \left( \frac{D-d}{D} \right) * (F_{md} - S_{md})} \right) * MAF_m = \left( \frac{S_{mr0}}{F_{m0}} - \frac{S_{mr0}}{F_{I_{md}}} \right) * MAF_m$$

とする。

また、デイリー版の為替ヘッジ指数のヘッジリターンについては、

$d$  日が  $m$  月の最終営業日でない場合

$$HR_{md} = \sum_{i=1}^d AF_{mi} * \left( \frac{S_{m0}}{F_{I_{mi-1}}} - \frac{S_{m0}}{F_{I_{mi}}} \right)$$

$d$  日が  $m$  月の最終営業日の場合

$$HR_{md} = \sum_{i=1}^{d-1} AF_{mi} \times \left( \frac{S_{m0}}{F - I_{mi-1}} - \frac{S_{m0}}{F - I_{mi}} \right) + AF_{md} \times \left( \frac{S_{m0}}{F - I_{md-1}} - \frac{S_{m0}}{S_{md}} \right)$$

とする。



## 4. その他

---

### (1) 指数値の配信

- ・ 為替ヘッジ指数の指数値は、各情報ベンダー等を通じて配信する。
- ・ 指数値の配信は1日1回行う。

### (2) 利用許諾

- ・ 為替ヘッジ指数の算出、配信、公表又は利用など為替ヘッジ指数に関する権利は、JPX総研又はJPX総研の関連会社が有している。このため、為替ヘッジ指数を使用して、ファンドやリンク債などの金融商品を組成・販売などを行う場合（相対契約によるオプション、スワップ又はワラントなどデリバティブ取引の対象にする場合を含む。）には、JPX総研とのライセンス契約が必要となる。また、為替ヘッジ指数を第三者に配信・提供等する場合にも、JPX総研とのライセンス契約が必要となる。

### (3) 問い合わせ先

JPX総研 インデックスビジネス部      E-mail : [index@jpx.co.jp](mailto:index@jpx.co.jp)

以 上